

令和4年度



# 東明小だより

第11号

令和5年1月24日(火)

## 地球温暖化防止について考える ～ペットボトル回収を始めます～

校長 奥村 哲也

昨秋、図書館に「SDGs コーナー」ができました。SDGsとは、2015年の国連サミットで決まった国際目標で「持続可能な開発目標」と言われ、全ての人が幸せに暮らし続けていくために解決していくべき達成目標が示されています。子どもたちにSDGsのことを知ってほしいと、図書館司書の中澤先生が、関連する本を今年度予算で新しく購入して、コーナーを設けてくださいました。『SDGsのきほん』シリーズや『SDGsおはなし絵本』シリーズ等が並んでいます。



図書館のSDGsコーナー

先月、6年生は、「地球を守ろう！温暖化防止教室」として、岐阜県地球温暖化防止活動推進センターによる出前授業を受けました。授業は3回に分けて行われ、1回目は、地球温暖化の現状やその原因について学びました。2回目は、家の間取り図に電化製品のシールを貼る演習を通して電気の使用量について考え、3回目には、手回し発電機などを使って発電の仕組みを調べました。授業を終えた今、6年生の子どもたちは、「自分にできる省エネ」に取り組んでいるところです。指導してくださった渡辺祥二先生は、「子どもたちには、今この地球で起きていることを正しく知ってほしい。現実をきちんと知ったうえで、何が大切なのか、自分に何ができるのかを考えてほしい。」と話してみえました。



2022/12/22 温暖化防止教室 発電体験の様子

さて、お知らせです。この3月から、学校でペットボトルの回収を始めます。決められた日に子どもたちがペットボトルを持ち寄り、専用のかごに集める予定です。具体的な方法や回収日等については、後日、改めてお知らせしますので、ご協力をお願いします。

これは、昨年7月に可児市が「ゼロカーボンシティ宣言」をしたことを受け、市内の全小中学校や市関連施設でペットボトルを回収し、リサイクルしていこうとする取組です。「リサイクル活動により、循環型社会の形成及び脱炭素化の推進を図り、一人一人が、自ら環境について考え、行動する力を養うこと」を目的としています。

これからの時代を生きる子どもたちには、誰もが安心して幸福に暮らすことのできる世界を築いていってほしいと願います。そのためにも、学校では、環境教育やSDGsに関する学習をさらに充実させていく必要があると考えます。ペットボトル回収は、地球温暖化防止につながり、SDGsの目標達成につながることでしょう。

これを機会に、ご家庭でも、リサイクルや地球温暖化、SDGs等について話題にしていただければ幸いです。